

体育・保体研究委員会

1, 研究テーマ

今ある力をもとに、自ら運動の楽しさを味わい深めていく体育学習はどうあったらよいか

2, 研究課題

子どもの実態を踏まえて、子どもにあった学習内容をどのようにとらえ、授業作りをしていったらよいか(『今ある力』の見つめ直し)

運動の楽しさの見つめ直し

子どもが今、その運動・種目を自ら楽しむために、教師はどのような働きかけをしたらよいか

3, 指導の実際



今年度の保健体育委員会は北信学校体育研究会との合同で授業公開を行うということでスタートし、東中学校と仁礼小学校の2校に授業公開して頂きました。

東中では、月岡英明先生に「跳び箱運動」を公開して頂きました。跳び箱運動の経験が少ない一年生に、ねらい1ではステージの段差を利用した回転上がりと回転下りを十分に体験させ、ねらい2では恐怖心を軽減するロールマット跳び箱の場を設定し、公開当日は、はね動作を意識した回転技に意欲的に取り組む生徒の姿を見せて頂きました。

仁礼小学校は遠藤和樹先生の「リズムダンス」の公開でした。ダンスは運動会のダンスくらいしか実践されていない状況が見られる中、遠藤先生の強い希望により、ダンスが選択され、いかにダンスの世界に浸り込んで踊る姿を引き出すかを課題として取り組んで頂きました。当日はノリノリカードが有効に働き、子ども達のノリノリなダンスシーンが展開されました。



4, 講演

「体育を好きな教科から必要な教科へ」(筑波大学体育科学系助教授 清水 紀宏先生)

